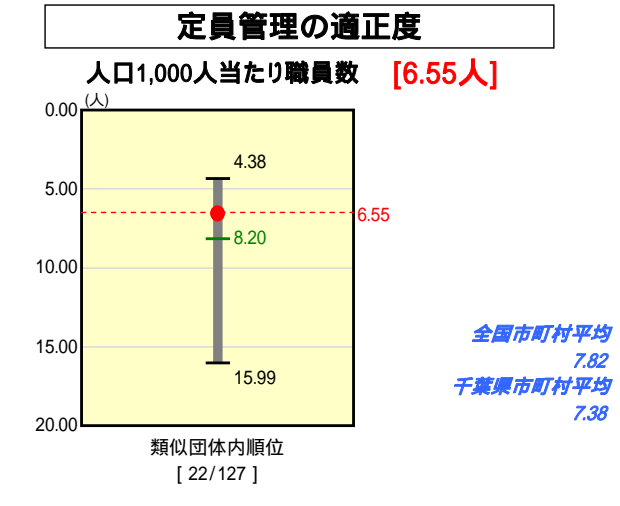
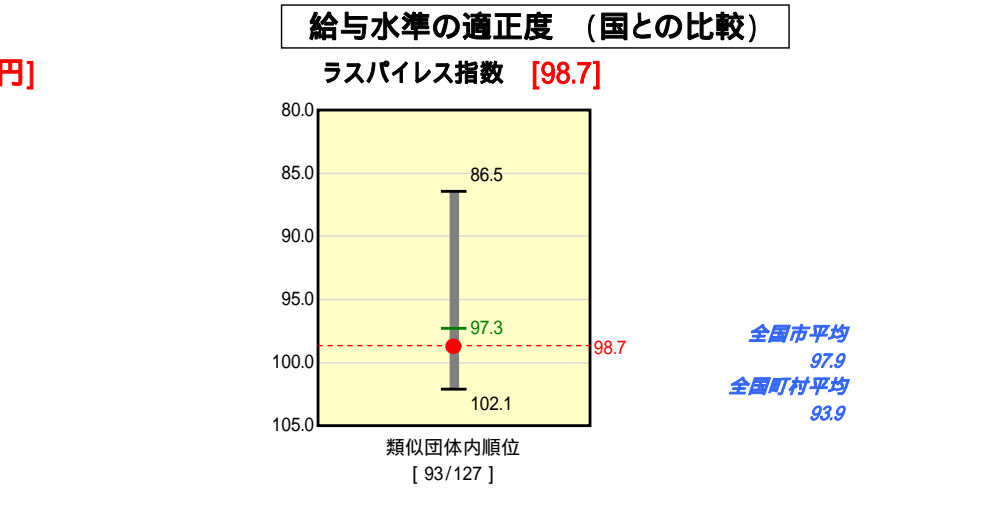
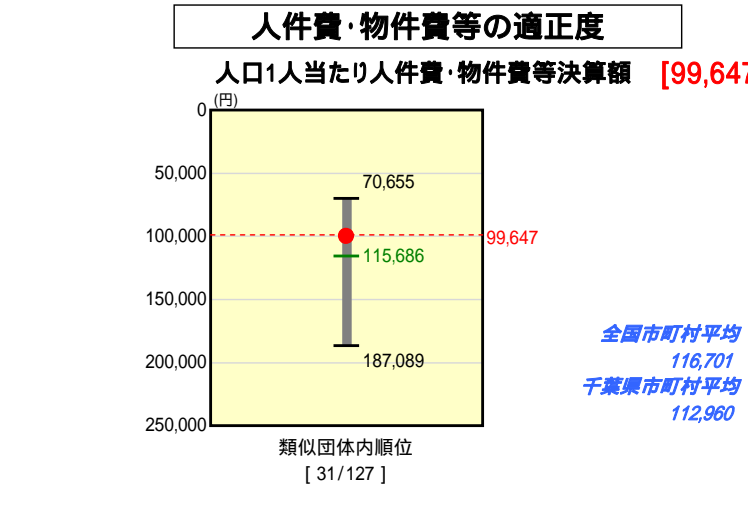
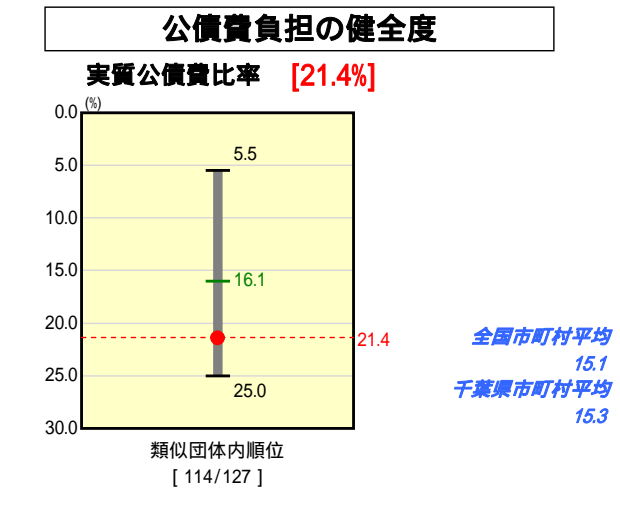
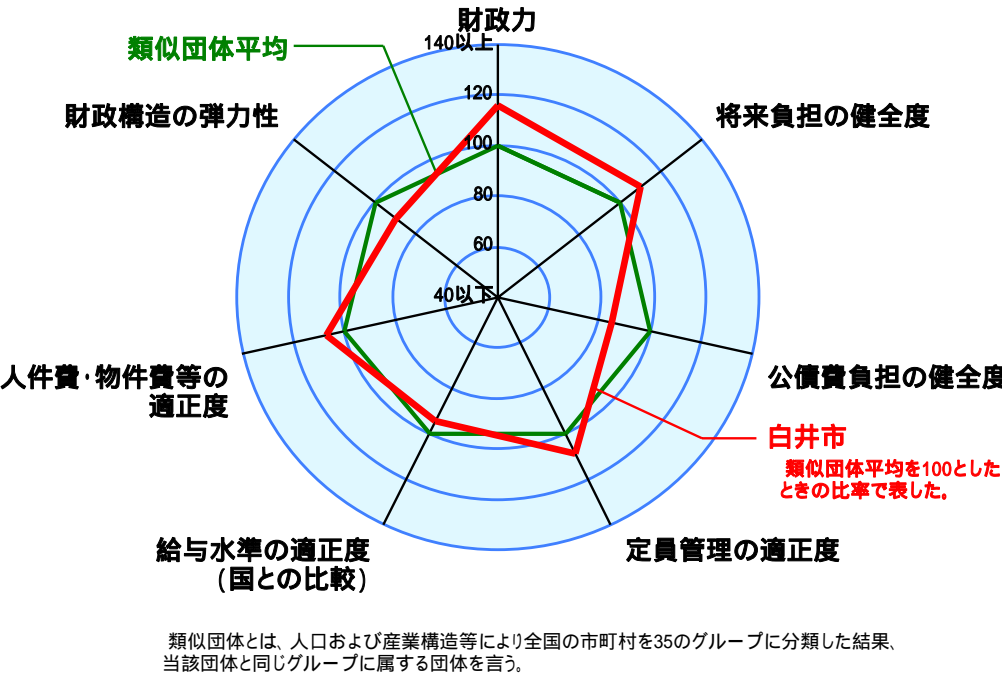
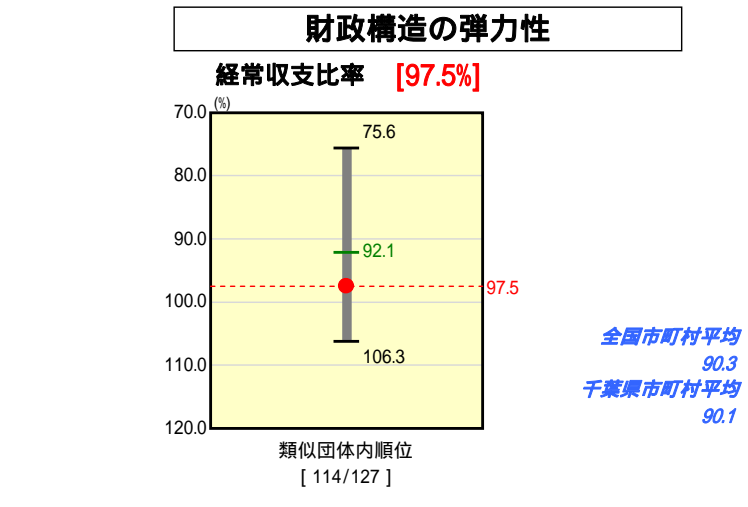
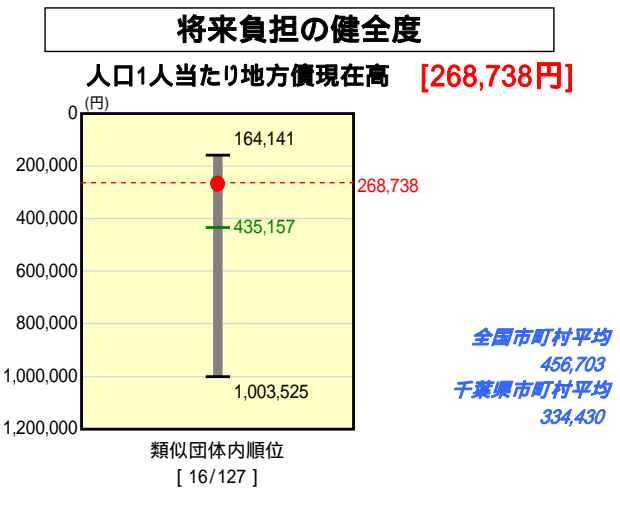
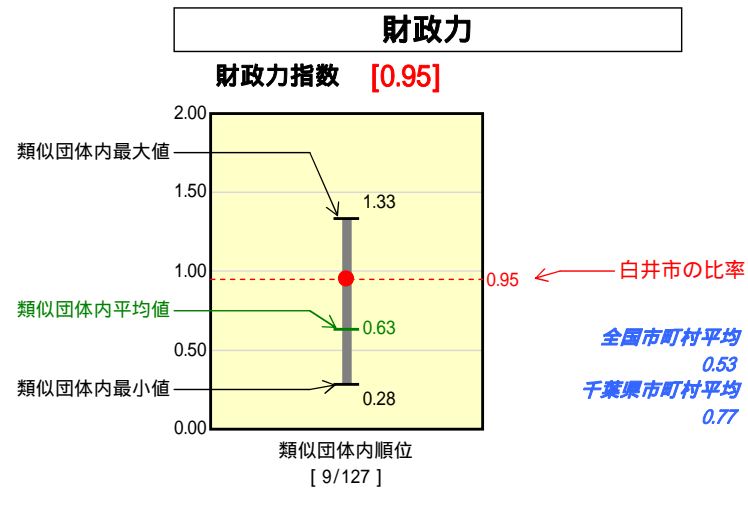


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 千葉県 白井市

人口	55,684人	(H19.3.31現在)
面積	35.41	km <sup>2</sup>
歳入総額	15,960,565	千円
歳出総額	15,311,663	千円
実質収支	604,735	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 人口の増加、税制改正や景気の緩やかな回復などをうけて、市税収入は増加しており、類似団体平均を上回っている。しかし、三位一体の改革により地方交付税が削減されるなど、一般財源の総額は減少しているため、今後も徴収率の向上や受益者負担の適正化など、自主財源の確保を図り、財政基盤の強化に努める。

**経常収支比率:** 千葉ニュータウン開発に伴う公債費や一部事務組合への負担金が多額であること、公共施設が多く、維持管理費や修繕費などの負担が大きいことから、類似団体平均を上回っている。しかし、行政改革や財政健全化計画への取り組みにより、平成17年度決算に比べて改善しており、今後も一層の歳入の確保と歳出の削減に努め、平成22年度決算における目標を95.0%とする。なお、千葉ニュータウン開発に関しては開発事業者から財政支援のための援助金があり仮にこれを考慮した場合には比率は低下する。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 類似団体平均を下回っているが、主要因はごみ処理や消防などの業務を一部事務組合で行っているためである。今後も人件費や物件費とともに、一部事務組合に対して経費の削減を要請するなど、組合への負担金の抑制を図る。

**ラスパイルズ指数:** 職員1人当たりの平均給与は類似団体平均を下回っているものの、経験年数ごとに分類される職員構成の違いにより、計算上、類似団体平均を上回っている。今後も引き続き給与の適正管理に努める。

**人口1人当たり地方債現在高:** 新規の地方債については将来負担を勘案して計画的な発行に努めているため地方債残高は減少傾向にあり、類似団体平均を下回っている。今後も新規発行に際しては、事業規模と借入額を精査し、計画的な発行に努めるとともに、平成19年度から地方債の繰上償還を実施するなど適正化に努める。

**実質公債費比率:** 千葉ニュータウン開発に伴う地方債の償還や債務負担行為の支出、一部事務組合に対する負担金が多額であることなどにより、類似団体平均を上回っている。地方債と債務負担行為いずれもピークは過ぎており後は減少傾向となるが、地方債の計画的な発行に努めるとともに、平成19年度から地方債と債務負担行為の繰上償還を行うなど将来負担の軽減を図る。なお、千葉ニュータウン開発に関しては開発事業者からの財政支援のための援助金があり、仮にこれを考慮した場合には平均値を下回る。

**人口1,000人当たり職員数:** 新規採用の抑制、早期退職制度や任期付職員採用制度の運用により、職員数は年々減少しており、類似団体平均を下回っている。今後も定員管理指針に基づき定員の適正管理に努める。